

日本口承文芸学会公開講演 2009年6月6日13時～ 於：奈良教育大学

説話のシルクロード—世界の口承文芸と奈良—

奈良教育大学 竹原威滋

フィンランド学派以来の地理歴史的方法による民話資料の蓄積と話型分類が一定の成果を挙げてきている今日、大林太良氏が神話研究において行ってきたように、民話研究の分野においても、世界の民間伝承を視野に比較研究することが求められていると思います。

奈良大会に合わせて敢えて「説話のシルクロード」と題して、ユーラシアにおける伝承説話『小びとの贈り物』(ATU 503)：『こぶ取り爺』(IT 47)を事例にシルクロードをたどりながら、東西の説話の交流を論じてみようと思います。あわせて「ならまち」に伝わる民話も紹介し、講演後の「奈良伝説散歩」の手引きとします。